もとはちおうじ

発　行
元八王子地域住民協議会
広　報　部
元八王子市民センター
八王子市上壱分方町747-1
TEL・FAX651−3960
(財)八王子市学園都市文化ふれあい財団

拡張された四谷交差点風景

高尾街道　高尾方面

陣馬街道　恩方方面

二十周年の節目迎え

飯田　勝

深秋の11月30日(日)元八王子地域住民協議会は、市民センター開設・地域住民協議会の発足を記念して、記念式典開催と記念誌発行の記念事業を行います。

当市民センターは昭和63年12月開館以来、コミュニティ活動の拠点として延べ230万人を超える多くの地域住民のふれあいの場として利用されています。

元八王子地域住民協議会は少子・高齢化が進む現代、二十周年を礎に、地域が抱える様々な課題の解決や近未来を展望する事業に取り組むと共に、地域住民5万3千人に愛される市民センターを目指し努めてまいります。

明日へキララ

子どもたちの未来へ…

どの子の顔も輝いて　キッズダンス！

（ダンスして、心も身体も**ホップ・ステップ・ジャンプ**）

幼稚園から小学校高学年までの子どもたちが、楽しく音楽のリズムに合わせ身体を動かしている。どの子の顔も生き生きと輝いている。みんなの気持ちが一つになり、心のまま踊る姿は周りに元気を与える。言葉で話せない事も踊りで伝えているかのようだ。先生の振りにあわせ、見よう見まねに真剣に踊っている姿はとても可愛い。伊藤康人先生は様々なアーティストのバックダンサー、振付師として活躍されている。その楽しい振り付けが好評で、最初ひとクラスで始めたが、今では初心者クラスもできるほど。教室には、若いお母さんが赤ちゃんを抱っこしながら見守っている微笑ましい光景が見られる。

ダンスを通して、お互いに思いやる心、一体感が持てることが何よりといわれる。小さい子どもを指導するのは大変な苦労と思われるが、踊ることが好きで又、子どもが大好きなので続けられると話されている。

指導として

★体を動かすことを第一に考え、入念なウォーミングアップからはじめ、誰にでもすぐに溶け込めるように考えている。

★振り付けもみんなを見ればすぐ分かるよう、リズム感のある楽しい曲で行う。

★身体も心もレベルアップするし、何より楽しく夢がいっぱい広がっていく。

★完成したダンスを多くの人に見ていただき、励みになるよう発表会に参加している。

昨今の子どもたちは、わがままで自己中心的と言われているが、ダンスを通して、小さい子たちを高学年の子どもたちが面倒を見る縦の繋がりがあり、思いやりのあるやさしい子に育つと思われる。踊りで相手の心をつかみ、大事なメッセージを周りに伝える素晴らしいキッズダンスをみんなで楽しもう！

〈ブルースカイ〉
毎週木曜日4時30分～
元八王子市民センター会議室

多様な音楽 パフォーマンス

「和太鼓祭座」

代表　髙篠　雅也

八王子市諏訪町に事務局を置き、平成8年1月に結成。保育園児～50歳代までの男女22人、プロ・アマ混合のアットホームな"ファミリー一座"。

楽曲はすべてオリジナル曲で、和太鼓のみならず津軽三味線、篠笛も入る14曲の組太鼓曲で構成。4尺大締太鼓、3尺2寸大平胴をはじめ、計27本の太鼓と鳴物も入れ12種類の音色を使い分けて、**音霊**の豊かさを大切に作曲しています。"プロを巣喰うアマ"、"アマを超えるプロ"という**心柱**を携え、その音楽性、パフォーマンス性の多様さで活動の幅を広げており、私たちは、ご覧いただいた人にとって"良薬でありたい"「目が記憶する太鼓」「耳で驚く太鼓」「そして艶のある太鼓」をモットーに日々研鑽を重ねています。又、古き良き大和の心である「江戸しぐさ」にも重きを置き、和太鼓というこの伝統芸能を磐石に継承すべく、心的育成にも力を入れています。

（各地で活動され、数々の賞をいただいています。）

地域の湧水を訪ねて

「いぼ取りの水」

弐分方町267番地

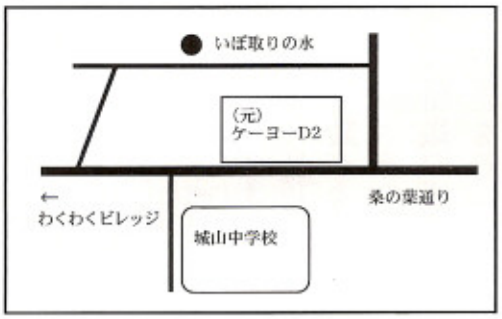
入口から見た湧水の全景

弐分方町・市川岩男さん宅の敷地内に出ている湧水は、その昔、この水をつけると奇妙に「いぼ」が取れるというので遠近より竹筒をもって、いただきに来る人が多かったことから「いぼ取りの水」という名前がつけられたとのことです。

水量は毎分3リットル程度で少量ですが、1年中枯れることなく水質も良いので、市川さん宅では、そのまま生で飲んでいるそうです。また、近所から水をもらいにくる人もいて貴重な存在となっています。

敷地の隣には熊野神社と称する小さな祠がありますが、戦国時代武田信玄の娘松姫が生家没落後、一時ここで雨露をしのぐために作った草庵が元といわれています。多分、松姫もこの水を飲みながら、不遇の生活を送ったことと推察されます。

その後、松姫は徳川家康や家来の加護により、八王子市台町にある信松院の開祖となったことは余りにも有名な話です。



文化祭のお知らせ

第20回センターまつり
第34回福祉の集い

（5月24・25日）

福祉の集いでは、八王子市在住の歌手三船和子さんにご出演いただき、一段と華やかな集いとなりました。

11月1日（土）・2日（日）

第21回定期総会の報告

会長　南雲健司

第21回定期総会（4月開催）に於いて前年度の事業、決算、会計監査報告、平成20年度事業計画、予算案、それに今年は会則の改正案が提案され審議の結果、満場一致で可決されました。

住民協が結成され20年、地域の様相も変わり、人とどまらず企画、立案、その時代の変化をすばやくとらえ、会の運営に反映する、そのためには調査、研究をする人数を増員しました。

☆運営委員会の規模の変更

従来の委員会は総会に匹敵する人員で構成され総会が形式化されている点を改善した。

☆部会・統合および役割の明確化

従来の厚生福祉、体育、シルバー部を統合し健康・福祉部とした。一部の人たちのサークル的集まりでなくそれを地域の人々にいかに広めていくかが、今後求められています。

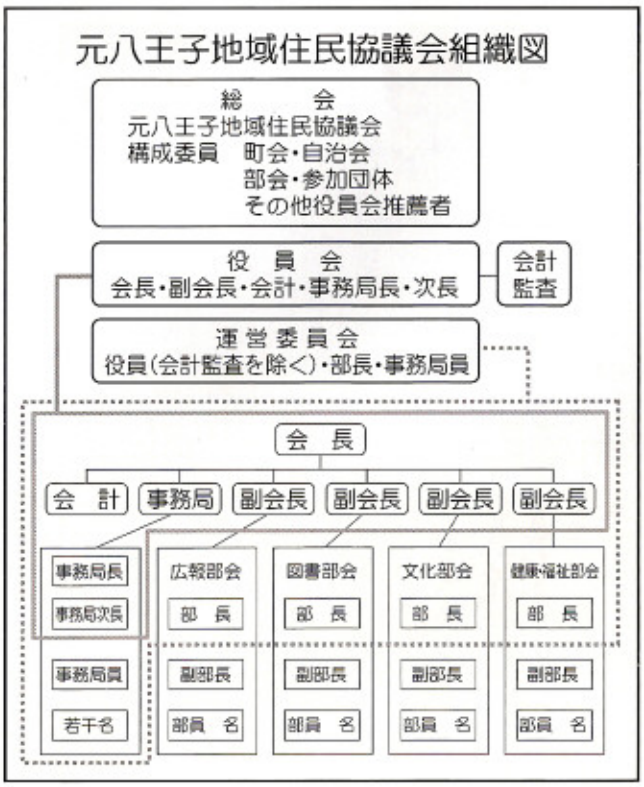
住民協の活動が地域の人々のニーズに応えるには、多彩な活動が必要になると考えます。そのための第一歩となる総会でした。

☆事務局を設置

会議、行事の記録だけに主な改正点は

間関係、特に人々の考え方、求めるものも当然変化しています。その世相に即した組織の活動が求められていますので、そのような観点から組織の要となる会則の改正を行いました。

元八王子地域住民協議会組織図



健康・福祉部会

部長　湯田きみ子

会則の改定により厚生福祉部・体育部・シルバー部が統合され、部員24名で発足しました。

今年度の活動について検討した結果、すでに実施している事業を含め、次の4事業を計画しました。

1　ラジオ体操
2　ゲートボール大会（年2回）
3　元八王子を歩く会
4　落語会

ラジオ体操については、現在諏訪神社グラウンドで毎週土曜日、「ラジオ体操の会」を実施しており1年が経ちました。健康増進に大変効果があり喜ばれています。このようなラジオ体操の輪を広げていければと考えています。

センターからのお知らせ

☆体育室の入り口、器具庫の扉が、修理完了しました。ドアストッパーは、事務室に用意してあります。なお、11月には体育室入口、プレイルームの壁紙の補修を予定しています。

☆敷地内の浄化槽が撤去され跡地が駐車場となり42台駐車可能となりました。

新任の市民センター職員紹介

4月　石井澄夫さん
8月　山口小夜子さん

編集後記

この夏は毎日といってよい程、全国各地のどこかでゲリラ豪雨に寄る河川の氾濫などの、ニュースが流れておりました。

地元、川町の山崩れの災害で、いまだに避難されておられる方々には、心よりお見舞い申し上げます。

本来は、豊かな自然に恵まれ住みよいはずの、元八王子周辺までが、異常気象の被害にあい、少々怖いものがありました。

猛暑日も年々増えつづけてあまりうれしくはありません。気がつけば、コスモスも咲き乱れ、秋本番となりました。好天を祈りつつ、気を取り直して、スポーツの秋、読書の秋、それぞれの秋を満喫しましょう。